

<みやぎ 2022年 市民の憲法行事>

日本軍「慰安所」から占領軍「慰安所」へ

～連続する性暴力をジェンダー視点で読み解く～

軍事組織自身もっているその暴力性と現在の私たちの日常生活の中にあるジェンダーにまつわる暴力性は地続きにつながっています。戦争のときの特殊なことだと考えないで、自分自身の問題と絡めて考えてほしいと思っています。(平井さんより)

とき 6月4日(土)13:30～15:30

ところ エル・パーク仙台 5階

セミナーホール

講師 平井和子さん

(女性史・ジェンダー史研究者)

参加費 500円



<占領軍「慰安所」って?>

1945年8月17日(敗戦の3日後)の閣議において、「日本軍が南京でやったようなことを占領軍にやられては困るので、性的な『防波堤』が必要」と日本政府が閣議決定し、28日占領軍のための「慰安所」(RAA=特殊慰安施設協会)を設置。

全国から女性たちが集められたが、1946年3月には閉鎖。街頭に「パンパン」と呼ばれる街娼たちが流れ出した。RAAは「性の防波堤」にはならず売買春を拡散させた。

<平井和子さんプロフィール>

1955年広島市生まれ 静岡県下の中学・高校の教員を経て、静岡大学・大妻女子大学等の非常勤講師。一橋大学ジュニアフェローを経て、現在同大学ジェンダー社会科学センター客員研究員。専門は、女性史・ジェンダー史・ジェンダー論(社会学博士)

<主な著作>『日本占領とジェンダー米軍・売買春と日本女性たち』有志舎2014年、上野千鶴子・蘭信三・平井和子編著『戦争と性暴力の比較史へ向けて』岩波書店2018年、「日本兵たちの『慰安所』一回想録に見る現場」吉田裕編『戦闘と軍隊の政治社会史』大月書店2021年など

主催 日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす宮城の会

連絡先 〒980-0811 仙台市青葉区国分町1-3-20 仙台中央法律事務所気付 ☎ 090-2023-9076